

四十一年度の各支部長決まる

- 城南支部長 金沢英児
- 中央支部長 尾田純一
- 東支支部長 寺尾純一
- 城西支部長 尾田純一
- 各地方
- 神奈川支部長 小島正義
- 埼玉支部長 安江正洋
- 千葉支部長 海老沢圭一
- 茨城支部長 小泉圭司
- 静岡支部長
- 六月現在で決つたのは右の通り

キャンパスのおしらせ

教養部では、次のようにキャンパスを計画致しました。今年には東京から近く、山の気分を味わえる高尾山にて行なうことになりました。会員の皆様の参加をお待ちしております。

- 一、期間 八月七・八・九日(二泊三日)
- 一、目的地 高尾山ユースホステル
- 一、募集人員 (男十二名 女八名)
- 一、費用 千五百円(宿泊と食費等) 交通費別
- 一、日程 才一日(だんらん・顔合せ・ゲーム)
- 才二日 高尾山ハイック・デイスカッション
- 才三日 反省会・お別れ
- 一申込ハ切 七月十五日(ハガキで)

本部事務所まで
文化教養部

あみもの教室から

当会では四季を問わずにあみもの教室を週二回行なっております。この度生徒を多数募集致しますので、更生を目的にしておりますから、どしどし応募して下さい。

先生は都立光明養護学校の小池先生が、器さ寒さにかかわらずに、一人一人の不自由を理解し手を取って熱心に御指導下さいませ。それと共に、皆さんが心を合せて助け合つて講習を受けていられるので、とっても明るい楽しい教室です。

希望者は本部の事務所へ御相談下さい。

編集後記

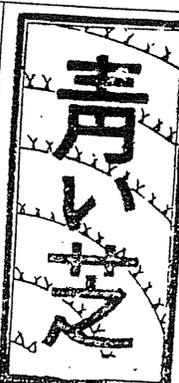
☆四十五号で施設についてアンケートを行ったが、あまり回答を得られなかつたが、この結果報告したので、皆さんが互に検討して下さい。

☆自主性と社会性についてご意見をお寄せ下さつたので、ひとりひとりのご意見に対して考えてみて下さい。又、それに対してご意見を寄せて下さい。

☆いつも広報に力を入れて下さっている星野さんが怪我をされたので、編集が淋しく思われた。一日も早く全快されるように祈つてやみません。

☆原稿ハ切 七月十日

中村



発行所 世田谷区豪徳寺一〇八〇二
伊藤先生方 四二九・〇〇六六
社会福祉事業団体
日本脳性マヒ者協会
青い芝の会

責任編集 中村 敬一
印刷 三誠社 三〇〇・ハハ〇九

「可愛い子には旅を」

自由主義の社会で自己の社会性が話題になるのは、一寸可笑しい様に思われますが、我々の様な自己中心に生きて来た者にとつては、やむをえない話題だと思ひます。

社会性とは子供の時から日々に身につけていくものだといふ事は申すまでもありませんが、我々は両親始め周囲の人があまりかばい過ぎ又我々がおぼさるすぎでそのために非人間的になつてしまつてゐるのではないのでしょうか。

例えば養護学校や特殊学級に入れたらといふ希望が多数ありますが、それらの学校に確かに良い面も数多くあると思ひますが、特殊な社会性を身につけてしまふ恐れはないでしょうか。

現在、日本は福祉国家といふますが、我々障害者(児)の社会があるのでしょうか。やはり一般の社会で生きて行かなくてはならないのです。そのためには一般の社会に取り入れられるところの社会性が必要なのです。社会

性身につける一つの手段として、昔から「可愛い子には旅をさせよう」といわれます様に、健全な子供について行ける限りにおいては一般の学校に入れる必要があると思ひます。

一般の学校に行くと体操の時間などはやれないので劣等感を感じてしまふ又仲間はずれにされて小さい胸を痛めることもあるでしょう。しかし、雑草のように、踏みつけられよう、おられても、自分自身で立ちあがり、一歩々々進んでいくような勇気を鼓しい世の中で鍛えられることによつて、身につけ、又社会性も生まれてくるのではないのでしょうか。

社会性を身につけるために何事にも耐え、そして、お互に努力すると共に社会に受け入れられる人間になつて行くことが必要なのではないのでしょうか。



注目ベストセラー！ 小児マヒを克服したあみもの記録

脳性小児マヒという不自由な体に鞭うち、土方、沖仲士をしながら学び、しかも多くの仲間達に愛の手を街頭に立ち、募金運動に生涯をささげる、血みどろの苦闘を綴つた、愛と感動の手記!!

朝日新聞。毎日新聞。読売新聞をはじめNHK、Tテレビの木島則夫、モーニングショーなどでも話題集中!!

全国各地から嵐の様な絶賛と、激励の言葉が寄せられてへます。

判 6 B 価 330円

著 小此木孝夫

青年あみもの会

東京都千代田区神田 駿河台3-5(五ビル)
振替 東京 9359

芸文社

婦人の友

八月号 発売中! 価 170円

血のつながりということ
血縁関係から人格関係へ

◇ 愛・血に代るもの
— 養母子をめぐる投書五篇 —

実を結んだ市民運動 関島久雄
お母さんのヒット
野球兄弟を育てた江藤登代子さん
原色をいかした新しい押花ガラー
質素で楽しい家政・ヘシリー著書

連載小説 巴里の門…芝木好子
風のかたみ…福永武彦

あるメルヒェン 二日市安
あみもの友 二木悦子 夫妻
打ちこむふたりの愛の物語
希望にあふれる 泉の家…シラ

— 女性の夢がみのつて —
— 身障者の授産施設完成 —

東京都豊島区雑司谷 婦人之友社
振替 東京一六〇〇

「社会性」とは？

石橋 玲二

本年度の総会以来脳性マヒ者の社会性というものがしばしば話題になつてゐます。社会性がなすという事は現在のより、やでも集団において生活せねばならない世の中において、人間としての資格がないと云われてゐることなのです。

そうした一般集団からの脱落は、我々だけ施設を創つたとしてもまた同じ結果があらわれるのではないのでしょうか。

そうした脳性マヒ者の存在を根柢から拒否するよき言葉を我々としては認めるわけにはいかないのです。

しかしこうして「背い芝」という組織の中にいると残念ながらそうした事実をたゞく就職にしてもこうした不況下、ことに脳性マヒ者にとってはむずかしいと云わねばなりません。たま／＼あつた希少な求人先を紹介すればそれに断わりもなく行かずにいるようを行為は社会性以前の問題と云えましょう。せ／＼好意をもってむかえ入れようとしてくれた会社に対して会としてどう云えはいいかその本は考えたいのでしようか。

毎年のレクリエーションのバスハイキングにしても自分が申し込みながら当日になつて行かないでおこる様々な事柄、例えばそのために定員外の人が行けなくなつてしまつてしまつたか

バスの定員席によつて生じる会に損害とか等どう思うのでしようか。

これらの他に突いてくる「マヒ」集団阻害の現象がみられます。

ではこのよきなことは一体どうして起るのでしょうか。とは云へ一口には云えない程数多くの要因があると思ひます。

その中の主なもの一つに我々は生まれた時から他とかくりざれた状態であつたこともあげられます。

一般の人々が幼児のときから入道などを通して否応なしに集団の中に順応しなければならなかつたのに対し、脳性マヒ者はあつた保護という厚い羽根の下で自己中心の生活をしなければならなかつたのでしようか。

こうした子供達がやがて成人し、いきなり社会へ入つた場合むしろ非社会的な人間が出来るほうが当り前といえます。

このように見てくると脳性マヒ者に対し社会性云々は我々成人の場合も手遅れではないのでしようか。

これから段々成長していつかはこうした言葉とた／＼かわねばならぬ予共たち、それに続く無限の子供たちのことを思うと先ず親たちの考え方から改めなければならぬのでしようか。

○新しい会員名簿の発行を希望する声があふれてゐる員だか会としてはいさしなくその計画はないとのこと。

理由として地名変更が終つてゐないこと、費用の工面を如何するかである。

○昨年結婚された会員諸氏、ちよみに愛の結晶をもたれた。

一月 花田由紀子ちゃん (政國氏愛慕)

四月 芝 和彦くん (勝氏愛慕)

八月 予定 (金沢英児氏愛慕)

他に賛助会員の上勝利・新井真一両氏にも二世誕生。ボクたちは同名の直樹くんです。

○葉山祥男・菊池真佐子さん五月にゴールインしました。姉さん女房は堂に入つたものと聞きます。御用とお急ぎでない方は、お立ち寄りしては如何。

○あみもの部で長年活躍してゐた鈴木婦美子永山淑子さんは閑居山コロニーで十月に揃つて學式。週刊誌も取材に行くとか。

○埼玉支部の古俣正子さん・東京才一病院に入院中。

○藤沢の山本礼子ちゃんは五月末に肺炎で亡くなられました。御冥福をお祈り致します。尚御両親から会に武蔵野田御寄附載せました。厚く御礼申し上げます。

○「ボクのパパはせんげつからひとりでこぼれんをたたり、おせんたくをします。ママはみつけてください。」やまきたみつちゃん

役員会報告

七月十日 定例役員会

出席者 山北・高垣・山口・石橋・星野・芝。(支部より金沢英児)

議事 さし当つて討議をしなければならぬ問題の直接担当の各部長が欠席のため、正式の議題はなく、①生活保護のことについて ②センター問題について ③脳性マヒ者の非社会性、幼児性について等を話し合つた。その話し合いの要旨は次の通り

① 前回の役員会で提案された、OP者が生活保護を受けるのにいくらかでも有利にそれを受けられるようにするため、福祉事務所へ仲間を五人程つれて行って陳情するという事は、反対である。何故なら、そういう事をしたらかえつて係の人の心証を書して逆効果になるおそれがある。

高垣「たしかにそういうことも考えられるし、五人で行つても結局そこにと並んでいだけのことだろう。それよりも一人本人に連れて行って助言してやる方がよいと思う。」

山北「そうなのだ。現にいま僕の所にいる石塚さんなんかうまくいっている。」

石橋「生活保護といへば、いまやっている朝日訴訟について少し研究してみようと思う。高垣「あれはどうにもならないのではない。いまさらそれで生活不可能の判決がされてもそれなら逆上つて不足分を支給

されるはずがない。

② 高垣「国立身障センター問題のその後のことについて一応話すると、更友会内部で和田先生個人の擁護を強く出して運動しようという意見と、もっと広い考えで運動しようという意見と分れてゐるようだ。

これについては、本会としては個人擁護の運動には協力できないとの意見が多かつた。

③ OPの人たちの中には、もの考え方ややることに社会性のなさ——はなはだ身勝手なわがままなものと思えるものが多いということについて

石橋「実際、就職させても一寸気いらぬことがあると直ぐ辞めてしまふし、就職就職とさわりでおきながら求人先を紹介してやつても全然そこへ行つてみないというようなことがある。

高垣「ある施設の入所者の職員に対する要求等も、相手の事をちよつと考へてやればそんな要求等出せないのだ……そういうことを教育して行く事も「背い芝」の重要な仕事の一つだと思ふ。

石橋「子供の時から甘やかされて来た結果、そうなんだから、一朝一夕には治らぬだろう。親を教育する必要がある。」

高垣「その通りで、その問題でも父母の会等と話し合う必要がある。」

* 以上の他、事務局より厚生年金の歳末チャリティを今年も行なうとのこと。

(文責・山北)

事務局だより

*七月、夏だというのに太陽は一向愛してくれようもしない。それどころか豪雨禍のニュースを聞くこの頃、被害にあわれた会員諸君には心からお見舞い申し上げます。

*先月の終り事務局の庭先で脚を骨折して星野さん約一カ月余をベッドですごし、ピッコをひきながら今月の始めより事務所へ出ては前以上のなめらかさ、そのウルサイコト、ウルサイコト……。

*前略 プルリチップ・スタンプの店が近くにないため約二キロの道を歩いて買物に行きます。五十枚こゝにありますが。車の小さいネジぐらいになると思ひます。(以下略)

以上が北東支部の松崎恵子さんからのお便り。ありがたくて涙が出る。しかしひまな人が計算したところ、このスピードで行くと待望の自動車には四百年かゝる由。ガンバレ！

*六月の会報より平常の会報にも広告を入れることになった。郵送料値上げのためとは云え事務局としては広告を集めることは相当の重荷である。

*お天気の方は梅雨明けが待ち遠しいこの頃、一足先に当事務局は入道雲におそわれた。劇団「雲」による、ドン・ジュアン(モリエール作 岸田今日子出演)がそれだ。そろそろ金庫は底をついた模様。ハテサチ如何にすべきか。

故なき疎外に對して勇氣を

山北氏の一文を読んで

金沢 悔

前号、山北会長の「障害者の中の脳性マヒ者とは」の一文は近來にないすばらしいものであった。云いたいことをズバリズバリといっている。全く同感である。わたし達脳性マヒ者は、もつと胸を張って街を歩かなくてはならない。世の中の人びとも歩かざるべきである。また、世の中の人びとも歩かざるべきである。その為こそ、生れ育っている「青い芝」の会だ。

山北会長も云われているように、わたし達は「言語障害がある」ということによつて、同じ身障者仲間からも疎外され「ている。故なく、全く故なくしてである。ひどい者になる」と同じ脳性マヒ者でありながら、たまたま己に言語障害がないということから変な優越感（それが何人も人間の優劣を決める何程のものではなからうか）を感じ、言語に障害ある者をただそれだけで見下している輩（やから）もわたしは知っている。わたしはここにその人々を容れず記した。何故なら、彼等が、より重症な人びとをたまたそれだけのことで友として選ばないという子供以下のことである。彼等は公然という子供以下のことをいうと違ふらうんだ」と、一体「あんな」とはどういうことなのだろうか。このどこに身障者同士の連体があるだろうか。愛があるだろうか。

か。「身障者に愛を！」といっている一方、他の身障の友を人間以下、少くとも己以下のものと見るとき、ここまで来るか自己分裂も病い肯盲だ。しかし、残念ながら、こうした傾向は多くの身障者の心の中に果喰つている。身障者が一番他の身障者を軽蔑する。日頃の己のみじめさをここに解消させ、一時でも自分の優位を満足させようとする極めてきたた幼稚な仕事である。だからこそ、身障者の大同団結もいつまでも夢なのである。「青い芝」の中でも「役員は言語障害のない人」という声がある。これはほんでもないことだ。言語障害者でない人が、どうしてこの苦しみを解つてくれるだろうか。そのもどかしさを解つてくれるだろうか。わたしは思う。「青い芝」こそ、本当の身障者グループの一つである。何故なら、真実身をもつて身障なるが故に傷つき、泣いた人びとが会長その他役員に連なっているからである。今後共こうした体制で進んでいっていただきたいと願うのはわたしひとりではあるまい。市の、区の身障福祉協議会の会長、役員達が得てして敬老の軽度身障者によつて占められていくことは事実である。それは、それなりの事情もあるであらう。しかし、このまゝでいいとは思わない。山北氏もいっているようにわたし達は何かの形で、こゝへもわたし達を代弁する人を送らなければならぬのではなからうか。

多摩御陵で描いた高尾山

城西支部 大谷 正 義

何時の頃かしら、自分でもよく分らないけれど、絵を描くことが、積極的な意味で私に出来る唯一の楽しみになった。すつと昔、疊の上にマッチ棒を並べて、家や、舟などの形を造つて遊んだ記憶はある。それから鉛筆で描くようになったが、クレヨンはずぐ折れてしまつてどうしても使えなかつた。或る時、私と同年で当時高校生だったI君に連れられて、自家からそう遠くない多摩御陵へ写生に行った。と云つて、誘つたのは私の方だった。見上げるばかりの杉木立の間、玉砂利が夏の陽に眩しく照り映えていた。一廻して、結局門衛の詰所の前の、茂みに囲まれた小さな池を描くことにした。I君は私が座る処に紙を敷いてくれたり、絵の具を溶く水を汲んで来てくれたりした。こうして、私は座つて、I君は立つて、同じ所を描き始めた。緑がかつた暗い水面のあちこちに数多くの排鯉が現れては消え、消えては現れていた。中ほどに苔に覆われた大きな石があつて、時折、十姉妹位の、もつと尾の長い、緑色と濃い紫に真白い筋のある美しい鳥が来て忙しうが何かを啄んでいた。通りすがりの人などが私について勝手な噂を乍ら見ていることもあつた。I君は、私が未だ半分も描いていない二日目の夕方にはもう仕上げたつてしまつていた。

レクリエーション報告

先々月の会報でお知らせした、東京都町田市と横浜市にまたがってある子供の園へのレクリエーションは、予定通り六月十九日、梅雨時としてはずまずの薄日の時折もれる天候の下で行なはれた。新宿西口をわたり予定時刻に出発。それはいゝが、参加申し込みをおこなうが何の連絡もなく参加しなかつた者が数名あり、おかげで会計さんは収支が合わず思案投げ首。(次から前金制にしよう。社会性がないんだ。早くに行けないと連絡すれば他の人を参加させるのには、とはカゲの声)

特別のほからいによりバスに乗ったまゝ子供園へ入園させてもあつた。歩行不能の重度者四名をふくめて六十八人近い大供ばかりが子供園へ入園するのは少々気が引けないが子供園に入園してみればけっこう大供もバスから降りて、まづ、記念撮影の後、芝生に円陣をつくつて日赤奉仕団の浅井氏のコーチによりゲームをひとまき楽しむ。その後昼食をしたまゝから自由行動に移り、夫々広い園内へ散つた。子供の園は、たゞだつ広いの一語につき

る。もつとも総面積九七万平方メートルあれば広いのはあたりまえだが。一周二キロと六キロたようだが、それでも皆かなりグロッキーになつたようだ。(もう一つカゲの声。あそこはアベックで行くといふわ)最後に、この日終始並々ならぬお世話をした下さつた浅井さん、上さん、山下さんなどの賛助会員の方々に厚く御礼申し上げます。(記念写真の入手の方は送料共五〇円をそえて事務局に申し込んで下さい。)

バス・ハイキングあれこれ

*天気 くもり まだ青い芝の旅行には雨がふつたことがないとか。誰かがテルテル坊主でも作っているんでしよう。
*今度の旅行には歩けない人達が数名参加していた。見渡す限りの文字通りの青い芝生の上で、くもり日にもかゝらうつらうつら日差しを射している人々のはだ。もつともっと太陽を面会させてあげたいと思つた。

川島 康 昭

拜啓 過日は、皆様のおかげでたのしい旅行をさせて頂いて誠に有難う御座いました。初めて同病の皆様と一緒に話をしたり見物もめずらしくたのしみはばかりでした。今後機会あります時は御願致します。重度で皆様に御折をかけますがよろしくお願ひ申し上げます。以上お礼まで

影のよく出た明るい絵であつた。が、翌日、私は母と一緒に描いてもらわなければならなかつた。母は、私が絵を仕上げたまで、描きかけの絵と、普通の人のものより何かと多く描き進んでしまつて、夕方の帰る時分から翌日まで預つてくれるように、門衛に頼んでくれた。それから又二日通つた。詰所の人たちが親切にしてくれて、その後三日目を家まで直して、仕上げた絵は、岩に砕けて飛沫を時き散らして真白に逆巻いて流れる谷川と云つたものは難しかった。忠実に池を描くことは私には難しかった。それから二ヶ月経つた。或る朝、新聞を見ていると父が不意に私を呼んだ。「お前の絵は佳作だつて、こゝに出ていいよ。聞には」

「先頃、高尾登山電鉄の主催で催された「高尾山を写生する会」には都内各地から小、高校生多数が参加したが、その作品コンクール入選者が次の通り決つた。早稲田高校々外生、尚、入選作品は×月×日より〇〇デパートに展示される」と書かれていた。「ただ、あんな水登の登、流れの疾い溪流は高尾山にはどうもなさそうだなあ、あれでいいなら又出すとい、本当に高尾山まで行んじや大変だぞな」と父は笑つた。そして続けた。「それにしても、あの絵、足で描いたとは思わないうな」

「一緒に描いたI君は入選しなかつたので、何となく申し訳ないような気がした。」

たくさんお金があつたなら

吉田 道子

テレビ新聞その他で一平方米五百円とかの
 広告が目につくたびに私はその土地を買いた
 いなあと思ひます。思つても先だつものはお
 金でどうにもならないのですが。空想するの
 は自由でできます。思い切つて広く一万坪位
 の土地を買います。そこに主に働く気持があ
 ったも社会で使つてくれない中程度のO.P者
 のための施設をつくりま。O.Pといつても
 容自能力や、障害のタイプがいろいろさま
 まのO.Pと言へばあけび細工に編物位とさま
 まつてしまつては本当に困りますし、私みたい
 な日常生活は不便でないため、障害等級は軽
 くなつても、職業となると手も足もでない者
 も少なくないでしょうし、と考へて動物飼育
 などどんなものでしょう。とても牛・豚とか
 山羊とか大きなものは手に負えませんので、
 兎・ねずみ、モルモットにさせるなど主に売先
 がきまつて用途の確実な医学研究用の動物に
 したらと思ひます。これらの動物は、買物で
 も、O.P発生予防の研究にも欠かせぬものと
 か、されば私たちが一役かうことになりま
 す。となか動物が大好きで獣医科へ入学した
 りどO.Pだから入つてもしかたがないし、出
 ても使ひものにならないからと半ばあきらめ
 て勉強しような仲間がいたら、無理にでも入
 ませようか。別に、下股の方がひどくても、
 手の方がさ程でない方たちは編物もよいし、

和文・英文タイプなど、知能のつよいO.Pに
 はほんやくもいふと思ひます。それには通学
 していても、のんびりだつたりとしてよく
 可能なかぎり勉強させたいと思ひます。こ
 こでは、一つの製作品は何人かけてもよいこ
 とにしても、世間に通用できるものをつくり
 たいと思ひます。それから、工作機械もい
 れたいし、どんなものがいいかわかりませ
 んけど、大切な部品で、それがないと、一般
 社会の産業界、電機製品など完成しないと云
 うような、オートメ式のがいと思ひます。
 世間の人が今まで考へてくれた仕事はどうゆ
 うものか、手内職みたいなものでした。手の
 能率のスローな私たちにとても適職とは云
 えません。
 朝一せいに鐘がなります。七時起床、その
 動物飼育などもっと早く起きなければなりま
 せんね。朝食は食堂で皆一緒。たゞお祈り
 などありません。まかない係は大変。食器洗
 いがすむと、材料の買込みやら、おひるの仕
 度、O.Pに出来るかな。栄養士さんもいるし、
 いまからだれか、栄養短大にでも入つてもら
 わないか。五時夕食。はやいけどこういう施
 設の生活ではしかたありません。それから入
 浴、十時まで自由時間で各自おもしろい
 時をすごすというわけ。
 十八才以上の日常生活に人手のいらぬ者と
 します。主にO.Pですが他の障害者だつて、
 働く意欲のある者なら、だれでも働けます。
 たゞし、私たちのことですからちよつとこ

をひつぱつてよとか、ボタンかけてとか
 というのはO.P。自主的に運営していくため
 の条件はこゝらあたりでしょう。車イス、杖
 つかつたつてかまいません。男女平等、よく
 働けるからいばつたり、管理課だからえらい
 などとは真直。信仰の自由、独身の寮も結
 婚する者のアパートも建てます。プライベート
 とか、気になる人のためにたくさん個室も
 用意したいな。自管できるかわからないけど
 サラリーも基本給みたいなものはほしいし、
 重度O.P者や特別に介護を要する人たちのた
 めに親も安心できるような施設もつくりたい
 しと、思ひはきりありません。皆さんも一
 つこんなものを望んでるようなことを書い
 て下さい。
 おたより
 入会して三ヶ月
 矢田 昌子
 暑中御見舞 申し上げます。
 私は、「青い芝」の会へ入会し、会報を読
 むようになってから、色々人生勉強を積ん
 で、そして又、これからは学んでいきたいと
 思つてます。
 光明養護学校を卒業し、田舎へ。社会
 の荒波に近く事なく今日に至り、皆さんに
 顔向けにいく思ひです。
 私は言語障害があり、今迄それを言おうと
 いう気になれなかつたのです。それは、必要
 性を感じなかつたからです。でも、卒業して
 母がどこへもついて来、方向オンチになつ

てしましました。

それで、考えも変わり、今年になってから
 練習にはげんでいます。十年先か、あるいは
 死ぬまでかゝつても、入に、言えないかもし
 れませんが、努力していこうと思つています。
 今は、点訳奉仕をしていますが、ペンフレ
 ンドも四人います。皆健常人なので、どなた
 がお友達になって、心の中までお互いの悩み
 をうち明け合はしませんか。
 下手のヨコズまで文を書いたり、読んだり
 する事が、現在の私の心の支えと信じていま

この会が、一層大きくなって行く事を、遠
 くからお祈り申しております。
 住所 和歌山市六十谷四九〇
 拜復
 おたより拝見しました。
 光明養護学校を卒業されたとの由、私も中
 学だけ光明に厄介になりました。養護学校に
 はそれなりに良い所もありますが、所詮は温
 室であることにはがらありません。そこにだ
 らないと、特に常識的なもの、考え方に欠け
 るようには思われず(決して貴女がそうだ
 らうのではありません)。やはり普通の入学
 生)たちの間に混り込まれては居る間にせう。
 ことは身につくのではないでせうか。
 言語障害があきて、その発音練習をされて
 いるとのこと、頑張って下さい。最大の練習
 は一人で勇気を出して出かけることです。
 又、点訳奉仕をなさつてゐるそりで、その

ような一つの仕事を携つていられるのは良
 ことです。しつかりやして下さい。
 では皆さんの折お体大切に

会長さんへ

加藤木蓮水

山北厚

夏を感じさせる気候になりました。
 会員の皆様方の活動や皆様方が障害をいか
 にコクフクされて、生活されてゐるかを会報
 を通して知らされ、私も皆様と同様の苦しみ
 の生活をして居りますが、皆様と共に生きて
 る者として何かにはげまされなごさめられ
 て居ります。

青い芝の会も他の社会団体より批判され
 り無力を感じさせられるむきもありましょ
 う。しかし、私達はO.P者がとにかく手をつな
 ぎながらO.P者の社会的地位の向上を少し
 も高めるため、どうしても青い芝の会の存在
 価値を認めざるをえません。
 O.P者は弱いだから手をつなぎながらはげ
 まし合ねばなりません。会長及び役員の方
 方の奮起を願ひつゝ、私も皆員の一人として会
 の発展を祈らざるをえません。

おたよりありがとうございます。
 青い芝の機関紙が、またたけげましやな
 ぐさめになつてゐるとの由、編集にたすさわ
 っている者にとつてうれしく思ひます。
 会のために役員としていろいろやりたい事
 があるのですが、なか／＼思うように行か
 ないのが現状です。私たちが出来るだけ努力す

るつもりです。

盛夏の折、暑さ負けなどしないよう。

山北

青い芝の会の皆様

全国の青い芝の会の皆様お元気ですか、お
 かげでこちらも元気でくらししておりますから
 安心して下さい。それでは僕達の町のように
 を少し替いて見ます。この岩国という町には
 錦帯橋があります。この橋は吉川公が今から
 三百五十年前に作られたものです。橋の下に
 はウカイが初まっています。観光船も毎夜川
 下には出ますが僕はまだ見たことはありません
 れます。夏のおぼんには毎年花火大会がおこな
 われます。八月十五日におこなわれますから
 皆さんこれからは暑くなりませうからお体に
 気をつけてお過ごし下さい。
 さようなら
 四十一年六月十五日

山口県岩国市川口町一丁目二ノ八

升本俊実君へ

升本俊実

お便り拝見しました。錦帯橋は大変立派な
 物でしょうね。夏の楽しい様子をお知らせ下
 さつてありがとう。鶴岡や花火大会は都心に
 住む私達にはちよつと味わえないものです。
 (夜空にパツと咲いては散つてゆく花火の美
 しき、男性的な鶴岡の様子)想像するだけで
 も楽しいです。升本君も大にこの夏を楽し
 く元気に通して下さいね。
 さようなら
 中村

センター坐り込みはしまる

七月十八日より国立身障センターの在所生は一せいに授業放棄に入り翌十九日から同センター玄関前において無期限の坐り込みを続けるもようである。

原因は昨年東一病院と業務になっている和田博夫医師のセンターにおける手術がおこなわれていないためである。

二十日 社会党・共産党議員の仲介により所側と話し合いを続けているが難行している。

二十一日夜、厚生省社会局長来所、代表者と共に。

二十六日社会労働委員会に取り上げられる模様

な我々としては昨年の六月にみられた身障者の卒直を訴えが外部のいわゆる左翼団体等の変形的な闘争にかわらぬよう自主性のある話し合いによる解決を希望してゐる。

石橋記

神奈川支部から

七月の例会は、山北会長の所にその一室を借りて生活してゐるかなり重障でもまり出歩けない会員がいるので、十七日にそこへ皆が集って開かれた。

横浜や川崎等の中心地から少々はなれてゐる所なので集りが悪Sのではないかと心配したが、反対にいつもより集りがよく、総勢十二人となる(これも会長の人徳のいたすところか?)。

初めて参加者もいるので自己紹介をした後、秋のレクリエーションとして十月半ばごろ相模湖へバスで行くことや、支部の運営費の不足をどうしたらいいかということや、子供の会員を対象に何かしなくてはいいかなの活のことも話し合った。

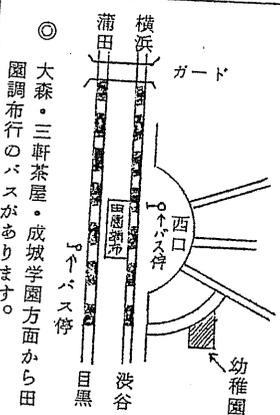
城南支部例会のお知らせ

左記の通り城南支部の例会が開きますので、城南支部の皆様、暑さに負けずふるって御出席下さい。(他の支部の方もどうぞおいで下さい。)

日時 八月十四日(日) 午後二時より

場所 田園調布幼稚園
(東横線・目蒲線田園調布駅
西口下車)

会費 三十円



訂正

前号にお知らせしましたキャンプの費用の件ですが、広報部が書き間違いました。千五百円とありますが、千五百円の書きまちがいですので御了承下さい。

編集後記

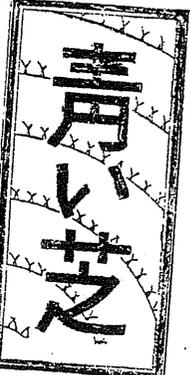
※ 今年、私達の身体に悪条件な梅雨が長く続きますが、皆様何如かすごしのことで。広報部では、星野さんが全快されて、暑さの中ではありませんが、一層頑張って、明るくやっております。

※ 今回も、私たちの社会性について、編集をいたしました。皆様がよくお考えになって参りやう。の意見をお寄せ下さい。

※ 今回も、おたよりのご返事をつけました。ご返事にならない文もありましたが、お互に一人一人の考えを述べあうことにより、少しでもなぐさめあって、会の発展のために、助けあって、とり入れていきたいと思っております。

※ 原稿をお寄せ下さって感謝しておりますが、同じ方が多くなってしまいました。もっと多々の方々の投稿をお待ちしております。次のへ切り八月十日まで

中村



№ 50
41・8・20

発行所 世田谷区蒙徳寺10-18の二
伊藤先生方 四二九・〇八六九
社会福祉事業団体
日本版性マナー者協会
責任編集 青い芝の会
印刷 三誠社 三〇〇八八〇九

「島国根性」

先日、福祉新聞「富士新報」に次のような文意のことが書かれていた。

「戦傷者は、おれたちは国のために働いて障害者になつたのだから、一般の障害者とはちがうのだと云ふ。どうも外見では身障者と判らないと云うことで、肢体不自由者等に対して奇妙な優越感を持ち、肢体不自由者は肢体不自由者の中で、自分より状態の悪い者が多く見られるが、このようなことで身障者の大同団結はほど遠く、身障者運動の発展は望めない」。

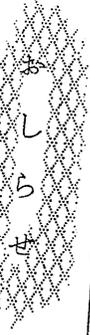
この、身障者が他の身障者に対しておかしな優越(差別)意識を持つてゐるという事実、実際、このようなくはしばしば見られる現象である。そして、このことから「島根性」と「島国根性」と云ふ二つの語を想起させられる。

小さい偏狭な心からつくり出されるものであろう。この偏狭さを克服しない限り、たしかに、身障者全体の力強い運動は起り得ないだろうし、また、片隅で起された運動が野火のように全体に広がることもないだろう。

いま、運動が広がること云つたが、それは、自分には関係ないから応援しないという偏狭さもあるが、運動を始める側にも、その運動が身障者全体の中でどのような価値がある普遍的なものにするかを考えることを忘る偏狭さがある。(これは身障センター問題の運動にも見られる)

この偏狭な心は社会や家庭、自分自身、教育その他いろいろの要素によつてつくられたのだから、その大きな要素の一つは日本人であるということかもしれない。源水禁の分裂、母親大会の分裂、政党の派閥争い等々全て偏狭さ故である。

なぜ、もつと大きな心を持ってゐるのだろうか。



会報四十九号の事務局便りであつた事業益金調達の興行を次におこなうことにつきまして、会員諸氏の御支援をお願いする次第です。

この度劇団「雲」の御好意によりまして観劇会を致します。(頁参照)

記

公演日 九月二十八日 (水)

開演 午後六時十五分

終演 午後九時三十分

場所 読売ホール (国電有楽町)

料金 A席1,000円
だしもの D・シヤマン

来日演出現代フランスの才一線
ジャン・メルキユール

出演 山崎 葵 小池 朝雄
岸田今日子 高橋 昌也
西沢 利明 広村 芳子
注文・問い合わせは 会二九(〇八六九)事務局